



滝小だより

令和5年度 第10号
令和6年 2月1日
北区立滝野川小学校
校長 市川 由紀絵

夢の実現

副校長 栗原 愛子

2024年を迎え一ヶ月が経ちました。校庭の紅梅の花がほころび、春の訪れを告げている中、滝野川小学校の子供たちは、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により、日々たくましく学校生活を送っております。

さて、1月中旬に待望の「大谷選手からの贈り物のグローブ」が届きました。グローブとともに学校宛に次のようなメッセージが入っておりました。

私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。
野球しようぜ。 大谷 翔平



滝野川小学校では、大谷選手からいただいたグローブを、市川校長先生が全校朝会で紹介をすると、「グローブを見せてください。」と校長室へ子供たちがやってきました。1月22日からは朝の時間に、「キャッチボールをしてみよう」という企画で、まずは希望する子供たちから、学年ごとにキャッチボールをしました。サインの入ったグローブをはめた子供たちの目は、輝いていました。偉大な野球選手である大谷選手からのグローブをはめる喜びとともに、「自分も大谷選手のようにになりたいな。」と感じていたことでしょう。

その様子を見ながら、「夢」について考えました。6年生の書き初めも「夢の実現」でした。小学生のこの時代に、子供たちには、たくさんの夢をもってほしいと思います。「夢」は、大きくても小さくてもそれぞれでいいのです。「こんなことができるようになりたいな。」「あんな人になりたいな。」そして高学年になると、視野が広がり「こんな社会にしたいな。」という思いをもつ子もいるでしょう。一人一人の子供たちが、それぞれに夢や願い、希望をもてる環境にすることが、私たち教職員の務めであることを強く感じます。

2月9日には、令和4・5年度北区教育委員会研究協力校として、研究発表会を行います。5年生の廊下には、「こうしたい、こうなりたい」という目標を、きたコンを活用して作成した新聞の号外を掲示しています。「火曜に早く起きて」こんな見出しを付ける意欲的な子供たちが、さらに「夢の実現」に向かっているよう教職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。保護者の皆様、地域の皆様、引き続き温かいご支援をいただきますよう、どうぞよろしく願いいたします。

【2月の行事予定】

1	木	委員会活動	16	金	NIEたいむ きょうだいタイム(中休み)
2	金	5時間授業	17	土	飛鳥中学校新入生保護者説明会
3	土	土曜授業日 6年租税教室	18	日	校庭開放13:30~15:30
4	日	校庭開放13:30~15:30	19	月	全校朝会 学力フォローアップ教室 区SC都SC
5	月	全校朝会 5時間授業 学力フォローアップ教室 区SC	20	火	3,4年5時間授業 保護者会3,4年
6	火	短縮時程 4時間授業 下校13:00予定	21	水	6年生を送る会
7	水	短縮時程 4時間授業 下校13:00予定	22	木	体育朝会 1,2年5時間授業 保護者会1,2年
8	木	都SC	23	金	天皇誕生日 校庭開放13:30~15:30
9	金	研究発表会 5時間授業 下校14:20予定	24	土	
10	土		25	日	校庭開放13:30~15:30
11	日	建国記念の日 校庭開放13:30~15:30	26	月	全校朝会 5,6年,4組5時間授業
12	月	振替休日 校庭開放13:30~15:30			保護者会5,6年,4組 学力フォローアップ教室 区SC
13	火	あいさつ運動始 安全指導	27	火	読み聞かせ
14	水		28	水	
15	木	音楽朝会 4組卒業生を送る会 クラブ活動終 都SC	29	木	児童集会 委員会活動(3月分) 都SC

☆避難訓練は予告なしで実施します。

書き初めの会

国語部

1月10日（水）、11日（木）「書き初めの会」が開かれました。

低学年は硬筆で、中学年以上は毛筆で書き初めに臨みました。低学年は、鉛筆の持ち方や姿勢に気を付けて、お手本をよく見ながら、一文字一文字、集中して丁寧に書き写していました。

中学年以上は、体育館で行いました。心をひきしめ、今までの練習の成果を発揮すべく一字一字お手本を確認し、一画一画に力を込め、真剣に書く姿が見られました。書いた文字は、3年生は「お正月」、4年生は「元気な子」、5年生は「希望の朝」、6年生は「夢の実現」です。丁寧に、そして大きく、堂々と書くことができたと思います。

集中し、自分の心と向き合う時間。2024年もよいスタートが切れたと思います。



「研究」について

研究推進委員会

「研究授業」というものが、月行事の中に入っていることがあると思います。それは、教員が、「こうしたらもっと子供たちの力を伸ばせるのではないか。」と考えた授業を提案し、話し合ったり講師に助言をもらったりするものです。滝小は以前からこの研究の主題に、「自ら問題を見つけ、共に学び合って解決する児童の育成」と掲げてきました。自分たちでもっと知りたいという「問題」を見つけ、調べ、考え、話し合っ「答え」を見つけていく「問題解決学習」というものです。

問題解決の力を見つける手立ては様々ありますが、滝小ではそこにNIEをおいています。新聞を毎日日直が紹介するという活動をする、初めは一面の大きな記事にしか注目しなかった子供たちが、新聞をめくり、自分のアンテナにかかった記事を紹介するようになります。中には、さらに「きたコン」を使って調べる子もいます。それは、「やらなくてはいけないこと」ではなく、子供たち自身が「どういうことだろう。」「もう少し知りたい。」と学習を始めて、分かったことを「誰かに伝えよう。」という姿につながります。研究を進めることで、滝小の子供たちが、自分の頭で考え、発信し、学び合う力につながればと思い取り組んでいます。

今月9日には、滝小で取り組んできた「研究」を、研究発表という形で広く伝えることになっています。滝小の児童の「自ら問題を見つけ」、「共に学び合って解決」していく姿を、広く見ていただけたらと思っています。